

2018.2.4

政府が2019年4月からの一部実施を目指す幼児教育・保育の無償化。国に先駆けて保育料の無償化に取り組み自治体では、子供の人口が増加傾向に転じるなど、狙った効果が表れつつある。ただ、保育ニーズの急拡大で、保護者からは不満も出ており、受け皿の拡大や事業者への支援強化が一層、求められている。

(中村剛)

## 大阪・守口市

大阪市に隣接する大阪府守口市は17年4月から、市独自の保育料の無償化を始めた。未就学児全員が対象で、「第2子以降」などの条件を設けず、親の所得制限もない。次男が市内の認定こども園に

認定こども園 幼稚園  
と保育所の機能を併せ持つ子育て施設で、親が働いているかどうかにかかわらず、幅広く子供を受け入れる。幼稚園や保育所から移行するケースが多い。2017年4月時点で全国に5081か所ある。

# 安心 の 設計 独自

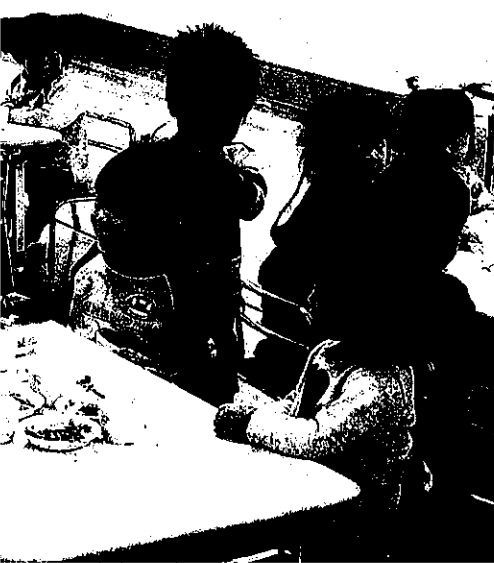
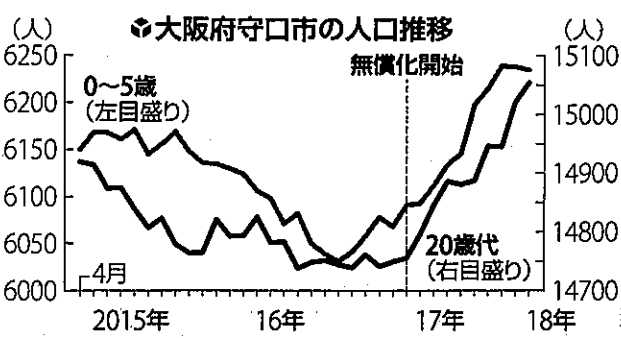
## の保育無償化 子供増

通う女性(30)は「助かっている。全然違う」と歓迎する。市独自の無償化の狙いについて、米田幸司・こども政策課長は「子育ての経済的な負担を和らげ、子育て層に安心して定住してもらうため」と語る。じりじりと減っていた市の人口は16年秋に無償化の方針が表明された後、回復傾向となり、0〜5歳や20歳代の人口も増え始めた。

一方、子育て施設の利用申し込みも急増した。17年4月時点の待機児童は、前年同期の約2.8倍の48人。市は、こども園の建物の増改築に補助金を出したり、小規模保育所を増やしたりして保育の受け皿拡大を目指している。17年度中に約240人分を増やすめどが立っているが、今

### 受け皿不足招き不満も

春入園希望の申し込みは、現段階で昨春より2割程度増えているという。子育て中の母親からは不満も漏れる。育休中の女性会社



行われている大阪府守口市の守口市では待機児童が急増している

### 児童「同時に対策を」

幼児てや状況をかの調時た」を  
数を時の手の手。世つあ化を先



と批判がある。中京大の松田茂樹教授(家族社会学)＝写真＝は、「待機児童対策は、働く親の両立支援の施策で、少子化対策としての無償化とは目的が異なる。同時に進めるべきだ。3〜5歳であれば多くが何らかの子育て施設を利用しており、国の無償化は幅広く子育て層を支えることになる」と指摘する。待機児童対策で、国は20年度までに、保育の受け皿を32万人分上積みする方針だ。着実な実施が求められている。

員(32)は、11か月の次女を長女(4)と同じこども園に預けられるよう申し込んだが、今春に向けた1次選考では入れなかった。長女に関しては無償化の恩恵を受けているが、「保育料が要らなくなり、よそから引越して来ている人は絶対にいると思う。次女が落とされるのならば、無償にしてもらわなくてもよかった」と嘆く。

補助減で事業者困惑  
預かる子供を増やすには、民間の協力が欠かせないが、事業者には戸惑いが広がる。市が無償化と同じタイミングで、事業者への独自の補助金を減らしたためだ。市によると、保育士などの処遇改善の補助金は、16年度の1人あたり月8000円から17年度は月2000円に減額。3歳以上の人数に応じた上乗せ補助も廃止された。

「私たちはな東こども園の郵橋(郵便局長(65)は、「子供の健全な育ちや、主体性を伸ばす教育には、遊具や絵本一つとっても、子供が自ら選べる環境が必要で、人数に見合った一定の予算が必要だ。支援を削りながら『子供をもっと預かって』と言われても困惑してしまふ。無償化で『タダなら預けよう』という保護者も出かねない」と気をもむ。

守口中央こども園の西山梢園長(76)も「受け皿の確保はかりに関心が集まるのは心配。事業者としては、いい教育や保育をして『守口』のこども園に行つてよかった」と言われたいが、経営は楽ではない。保育士の確保も難しくなっている」と話している。